

# 新型コロナウイルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について ⑨

## 12月検針分（主に10・11月使用分）

### 用途別の影響

令和2年12月の検針データを前年同月と比較すると、下表のとおりとなります。

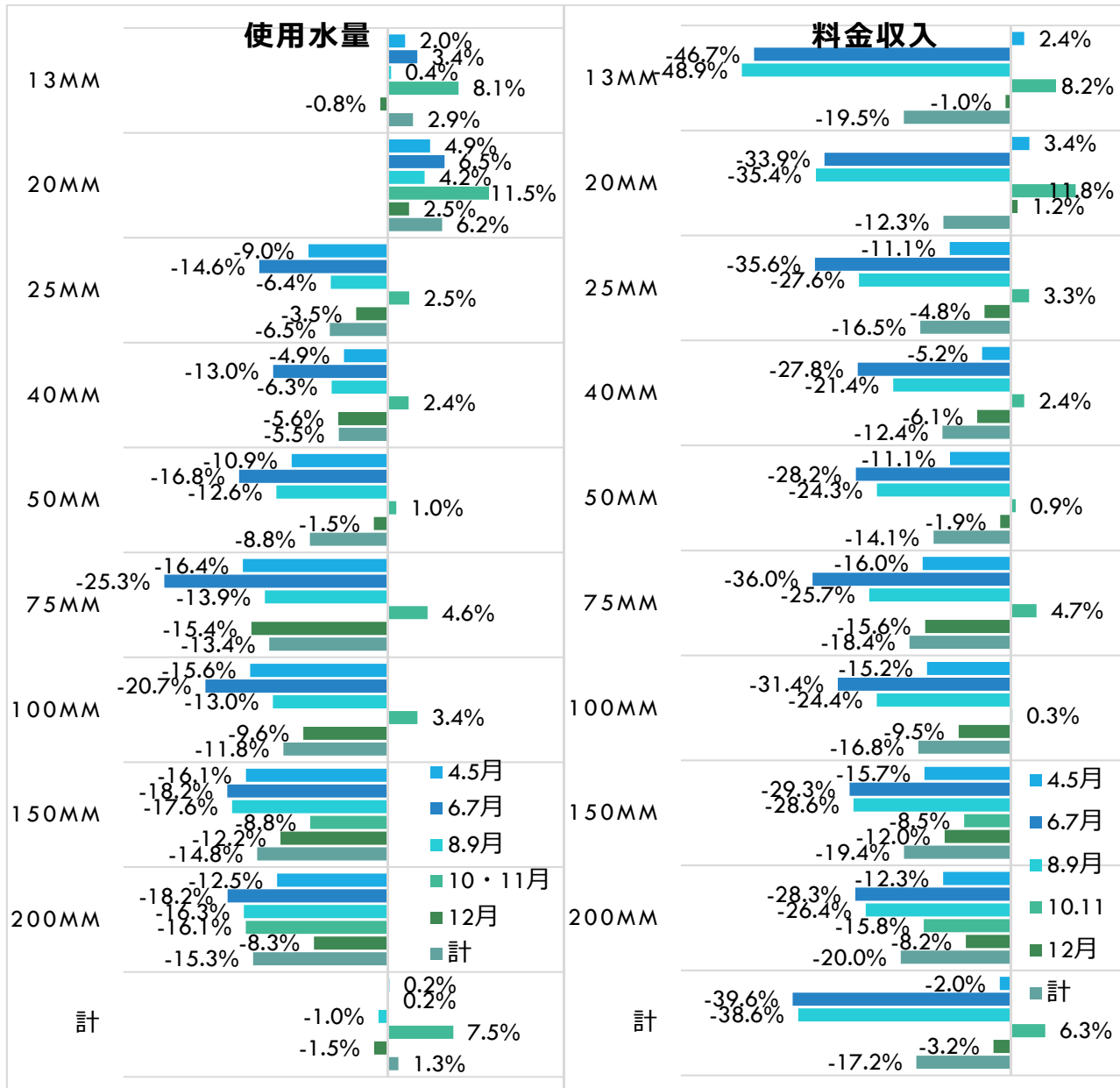
4、5月は、主に家事用に用いられる口径20mm以下のメーターでは水量、金額ともに増え、主に業務用となる口径25mm以上のメーターではともに減少、6～9月は、全体的に水量、料金ともに減少となりましたが、10、11月分は、20mm以下、25mm以上ともに水量、金額ともに増加しました。しかし、12月検針分は、再び減少に転じました。

料金は、使用水量も減ったことから、約660万円、約3%の減収となりました。同じ対象者の10月検針分と比較すると、使用水量は49,000m<sup>3</sup>の減少、料金も約810万円の減少となりました。11月からの新型コロナウイルス感染症第3波の影響が及び始めた可能性があります。

検針年	区分	12月検針分（10・11月使用分）		
		20mm以下	25mm以上	合計
R1 (H31)	水量 (m <sup>3</sup> )	1,366,771	321,502	1,688,273
	金額(税抜き：円)	132,187,540	73,120,545	205,308,085
	供給単価(円)	96.72	227.43	121.61
R2	水量 (m <sup>3</sup> )	1,365,180	297,767	1,662,947
	金額(税抜き：円)	131,515,505	67,315,750	198,831,255
	供給単価(円)	96.34	226.07	119.57
増減	水量 (m <sup>3</sup> )	△ 1,591	△ 23,735	△ 25,326
	増減率	△0.12%	△7.38%	△1.50%
	金額(税抜き：円)	△672,035	△5,804,795	△6,476,830
	増減率	△0.51%	△7.94%	△3.15%
	供給単価(円)	△ 0.38	△ 1.37	△ 2.04
	増減率	△0.39%	△0.60%	△1.68%

## 口径別の変動率

口径別の変化を見ると、下のグラフに表すとおり 20 mm以外の口径で使用水量、料金収入ともに減少に転じました。4 月からの合計では、水量は、1.3%とわずかに前年度を上回りますが、料金は17.2%、減額措置の影響を差し引いても0.9%減少しています。



## 結論

使用水量合計の変動率は、△1.5%であり、令和元年度の変動率の範囲（月△4.2%～+2.5%）内ですが、10,11 月に見られた回復傾向から、再び減退傾向となった可能性があります。現在の配水量にも同様の傾向が表れており、今後の動向には注意を払う必要があります。